

# 栄えある受賞 おめでとう ございます

## 釧路市民貢献賞



### 産業部門

はこ びき まさ はる  
菅 昌晴さん (86歳)

1958 (昭和33) 年から家業である酪農業に従事される傍ら、半世紀近い47年の長きにわたり森林組合の要職を歴任され、釧路市音別地区の林業・林産業の振興を支えてこられた。

音別町森林組合では要職を歴任し、1997 (平成9) 年からは代表理事組合長として、地元未利用材を有効活用するための製材工場を稼働させるなど、森林所有者の所得向上と地域雇用の促進に尽力された。

後継団体のくしろ西森林組合においても、理事・代表理事組合長を務められ、在任中は釧路市音別地区民有林において100%の再造林率を実現するなど、持続可能な林業の振興に大きく貢献された。

また、釧路地区森林組合振興会会長を通算4年務められ、釧路管内の植栽現場におけるエゾシカによる食害の声を取りまとめ、全道の森林組合振興会長と協力の上、国や北海道に対してエゾシカ被害対策補助金の新設を要望し、現在の森林整備補助金メニューの創設につなげるなど、関連団体でも活躍された。

以上の通り、釧路市の林業・林産業の発展と地域経済の振興に寄与された功績は極めて大きいものがある。



### 社会部門

すぎ もと こう いち  
杉 元 紘一さん (85歳)

1973 (昭和48) 年に釧路市医師会に入会、1995 (平成7) 年には理事に、2001 (平成13) 年には副会長、2009 (平成21) 年には会長と要職を歴任し会長任期中には、釧路市医師会看護専門学校長を兼任され、多くの看護師を輩出し、地域医療の継続に大きく貢献された。

また、2009 (平成21) 年には、釧路市医師会病院閉院に伴う公益法人から一般社団法人への移行という厳しい転換期を統括し、医師会の円滑な運営に大きな功績を残された。

2017 (平成29) 年は、釧路市夜間急病センター長に就任し、釧路地区の夜間における救急医療の提供に尽力され、長年にわたり地域医療の第一線で活躍されている。

この他、自院に多目的ホールを併設し、各種コンサートや講演会を開催するなど、文化的な交流の場を提供されている。さらに、2017 (平成29) 年に「柳町公園桜基金」を設立し、釧路市柳町公園の桜の名所化を目指して、桜の育成活動の支援を継続してこられた。

以上の通り、地域医療のみならず、街づくりや文化活動の発展に積極的に取り組み、活動を継続してきた功績は誠に顕著なものがある。

## 釧路市文化賞



### 芸術部門 (バレエ)

うめ づ なお こ  
梅 津 尚子さん (73歳)

活動名：大友 尚子

釧路地域のバレエ文化を牽引し続けている1人で、スタジオ開設50周年を記念した発表会を開催された。

クラシックに加え、郷土をテーマにした創作バレエ「サーモンスター」や、釧路の自然を表現した「KUSHIRO水ものがたり」の上演、友好都市出水市との交流事業で演舞を披露するなど、長年にわたり、地元根差した表現活動を続けてこられた。

また、早くからコンテンポラリーの作品を取り入れ、釧路における地域芸術としてのバレエ発展のために積極的に活動され、その振興に大きく寄与されている。

これまで国際バレエコンクール入賞者や国際的バレエ団にて活躍する団員といった、国内外で活躍する人材を多く輩出するなど、後進の育成にも積極的に取り組まれており、本市の文化の発展・向上に多大なる貢献をされている。



### 芸術部門 (音楽)

なか の くに あき  
中 野 國韻さん (74歳)

大学卒業以来、教職に携わり、合唱・吹奏楽の指揮・指導者として50年以上にわたり本市の音楽文化の発展に尽力されてこられた。特に合唱団「コール・カンパニーレ」では長年にわたり指揮・指導を務め、C・オルフ作曲「カルミナ・ブラーナ」(吹奏楽伴奏版)をはじめとした数多くの演奏を通じて地域に根差した合唱文化を牽引されてきた。

吹奏楽分野では小学校・中学校・高校から社会人まで幅広く指導し、全道・全国大会へ数多くの団体を導くなど、卓越した指導力を発揮されてきた。

また、釧路地区吹奏楽連盟、釧路合唱連盟の両団体に要職を歴任し、地域の音楽活動を支えるとともに、指導者として多くの後進を育成された。長年にわたり合唱と吹奏楽の双方から本市の音楽文化の発展・向上に多大なる貢献をされている。

## 釧路市スポーツ賞



### スピードスケート

しん はま たつ や  
新 濱 立也さん (30歳)

第25回オリンピック冬季競技大会  
スピードスケート競技 男子500m  
6位入賞 (2026 (令和8) 年2月6日～19日イタリア ミラノ・コルティナダンペッツォ)

3歳の頃からスケートを始め、2012 (平成24) 年に北海道釧路商業高等学校へ進学し、高校3年次の全国高等学校スピードスケート選手権大会では、500m、1,000mの2種目で優勝された。その後、高崎健康福祉大学へ進学し、2019 (平成31) 年には、ワールドカップの500mで33秒79の日本記録を樹立された。

大学卒業後は、高崎健康福祉大学の職員として競技を続けられており、2025 (令和7) 年12月のオリンピック選考会において、スピードスケート日本代表に選出された。

2大会連続でオリンピック出場となった2026 (令和8) 年2月のミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックでは、男子500mに出場し、日本人参加選手として最高位となる6位入賞を果たされ、日本のスケート界に歴史を刻まれた。

このたびのオリンピックでの活躍は、次代を担う子どもたちに夢と希望を与えたものであり、本市のスポーツ振興に大きく寄与された。



### 陸上競技

ま みや まさ よし  
間 宮 政喜さん (67歳)

2011 (平成23) 年に釧路地方陸上競技協会副会長、

2019 (平成31) 年には同協会会長に就任され、2025 (令和7) 年からは同協会顧問として、15年以上にわたり役職を歴任されている。指導者育成や競技環境整備をはじめ、釧路湿原マラソンなどの地域大会や各種事業の推進に積極的に取り組まれ、釧路市の陸上競技の基盤づくりの中心的役割を果たされてきた。特に、「釧路アスリートクラブ」や「釧路陸上クラブ」の運営など、ジュニア育成事業の充実に力を注がれ、全国の舞台で活躍する選手を複数輩出するなど、競技者の育成にも貢献された。

次代を担う選手の育成に尽力されたことは、地域の指導体制の確立や競技力の向上にも重要な役割を果たし、陸上競技を通じた釧路市のスポーツの発展に顕著な成果をもたらされた。

また、フルマラソンの三分の一に当たる距離を走る「間宮杯1/3マラソン」を主催されるなど、スポーツ機会の創出と推進にも功績を残された。

これらの長きにわたる活動の功績により、本市のスポーツの普及振興に多大なる貢献をされている。

## 授賞式の日程

### 釧路市民貢献賞

日 時 10月9日(金)午前10時

会 場 市役所2階市議会議場

問合先 市役所市民生活課  
(☎31-4590)

### 釧路市文化賞

日 時 11月3日(火)午前11時

会 場 市役所2階市議会議場

問合先 市教委生涯学習課  
(☎31-4579)

### 釧路市スポーツ賞

日 時 10月14日(水)午後4時30分

会 場 アクア・パールくしろ

問合先 市教委スポーツ課  
(☎31-2600)

※今年度の釧路市文化奨励賞、釧路市スポーツ奨励賞は該当がありませんでした。